

2024年9月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月14日

上場会社名 株式会社フリークアウト・ホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 6094 URL <https://www.fout.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 Global CEO (氏名) 本田 謙
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CF0 (氏名) 永井 秀輔 TEL 03(6721)1740
 定時株主総会開催予定日 2024年12月27日 配当支払開始予定日 —
 有価証券報告書提出予定日 2024年12月27日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有（証券アナリスト・機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2024年9月期の連結業績（2023年10月1日～2024年9月30日）

（1）連結経営成績

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		EBITDA		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期	51,711	69.0	1	△99.9	366	△84.3	1,775	△48.6	△3,190	-
2023年9月期	30,604	5.7	1,610	21.1	2,338	△13.7	3,452	43.4	7,870	476.7

（注）包括利益 2024年9月期 △2,978百万円（-%） 2023年9月期 7,674百万円（226.8%）

（注）EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん償却額+持分法による投資利益+株式報酬費用+M&Iに関する株式取得・売却関連費用

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年9月期	△179.75	-	△22.0	0.8	0.0
2023年9月期	440.22	434.25	63.3	6.7	5.3

（参考）持分法投資損益 2024年9月期 538百万円 2023年9月期 702百万円

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年9月期	41,617	16,951	30.4	728.73
2023年9月期	44,886	20,313	36.4	915.14

（参考）自己資本 2024年9月期 12,662百万円 2023年9月期 16,360百万円

（3）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年9月期	△2,699	244	3,055	19,821
2023年9月期	2,461	10,248	△848	19,394

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年9月期	-	0.00	-	0.00	0.00	-	-	-
2024年9月期	-	0.00	-	0.00	0.00	-	-	-
2025年9月期（予想）	-	0.00	-	0.00	0.00	-	-	-

3. 2025年9月期の連結業績予想（2024年10月1日～2025年9月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		EBITDA		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	56,000	8.3	200 ~700	-	-	-	2,100 ~2,600	18.3 ~46.4	-	-	-

（注）現時点では2025年9月期の業績に影響を与える未確定な要素が多いため、通期の経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益の合理的な業績予想の算定が困難な状況です。当該連結業績予想については、合理的な算定が可能となった時点で速やかに公表する予定です。

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2024年9月期	18,022,924株	2023年9月期	18,022,924株
2024年9月期	646,408株	2023年9月期	145,184株
2024年9月期	17,748,137株	2023年9月期	17,877,740株

(参考) 個別業績の概要

1. 2024年9月期の個別業績 (2023年10月1日~2024年9月30日)

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期	1,127	△63.7	△240	-	△581	-	△4,179	-
2023年9月期	3,108	375.5	1,500	-	1,360	-	8,926	-

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2024年9月期	△235.50	-
2023年9月期	499.30	492.60

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年9月期	19,762	9,249	44.5	505.64
2023年9月期	23,646	13,799	56.6	748.44

(参考) 自己資本 2024年9月期 8,786百万円 2023年9月期 13,380百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.5「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	4
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	4
(4) 今後の見通し	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(表示方法の変更)	14
(連結損益計算書に関する注記)	15
(セグメント情報等の注記)	17
(企業結合等関係)	22
(1株当たり情報)	23
(重要な後発事象)	24

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当社グループは、ミッションである「人に人らしい仕事を。」の実現を目指し、日本、北米、東アジア及び東南アジアを中心に、グローバルに事業を展開しております。

当連結会計年度においては、ロシア・ウクライナ情勢、世界的な物価上昇、急激な為替変動など、非常に先行き不透明な状況が継続しております。

このような状況のもと、当連結会計年度における当社の経営成績は、以下のような内容となりました。

まず、広告事業（日本）においては、プレミアム媒体を対象とした広告プラットフォーム「Scarlet」及び高度なブランドセーフティ機能を搭載した動画コンテクスチュアルターゲティングを可能とする次世代型YouTube広告枠買付システム「GP」が順調に推移いたしました。

次に、広告事業（海外）においては、米国の景気後退懸念による影響を受けて米国法人Playwire, LLCが前年同期比でEBITDA、営業利益が減益となったほか、東アジア・東南アジアもゲーム市場の変化による影響を受けて前年同期比で減益となりました。

また、持分法適用会社では、タクシー内のデジタルサイネージを提供する株式会社IRISが利益貢献いたしました。

最後に、UUUM株式会社の連結開始に伴い、インフルエンサーマーケティング事業が収益貢献しております。

一方で、当連結会計期間には、当社が保有するUUUM株式会社の株式の市場価格が取得価額に比べて著しく下落したことに伴い、個別決算において当該株式の減損処理を計上したため、連結決算において、「連結財務諸表における資本連結手続に関する実務指針」（日本公認会計士協会、最終改正2022年10月28日、会計制度委員会報告第7号）第32項の規定に基づき、のれん償却額を特別損失として計上しました。

以上の結果、当連結会計年度の業績は、売上高51,711百万円（前年同期比69.0%増）、営業利益1百万円（前年同期比99.9%減）、経常利益366百万円（前年同期比84.3%減）、EBITDA（営業利益＋減価償却費＋のれん償却額＋持分法による投資利益＋株式報酬費用＋M&Aに関する株式取得・売却関連費用）1,775百万円（前年同期比48.6%減）、親会社株主に帰属する当期純損失△3,190百万円（前年同期は親会社株主に帰属する当期純利益7,870百万円）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

なお、前連結会計年度末において、UUUM株式会社を連結子会社としたため、報告セグメント「インフルエンサーマーケティング事業」を新設しております。また、当連結会計年度より、従来「広告・マーケティング事業」としていた報告セグメントの名称を「広告事業」に変更しております。この変更はセグメント名称の変更であり、セグメント情報に与える影響はありません。

(広告事業)

広告事業（日本）では、プレミアム媒体支援事業が順調に成長し、株式会社フリークアウトの主力プロダクトの1つである「Scarlet」が順調に推移したほか、「GP」も順調に推移しております。

また、広告事業（海外）では、米国の景気後退懸念と東アジアにおけるゲーム市場の変化による影響を受けて、米国法人Playwire, LLC、アジア（東アジア・東南アジア）が前年同期比で減益となりました。

この結果、広告事業の外部顧客への売上高は29,480百万円（前年同期比1.5%増）、セグメント利益は992百万円（前年同期比33.7%減）、EBITDAは1,868百万円（前年同期比32.4%減）となりました。

(投資事業)

投資事業では、Global展開のポテンシャルを有する製品/ソリューションを開発するITベンチャー企業を主たる投資対象として、投資リターンによる企業価値の向上を図るための事業を行っております。

当連結会計年度においては、営業投資有価証券の減損及び有価証券の一部売却等を実施いたしました。

この結果、投資事業の外部顧客への売上高は51百万円（前年同期比96.5%減）、セグメント損失は72百万円（前年同期はセグメント利益1,367百万円）、EBITDAは△87百万円（前年同期は1,329百万円）となりました。

(インフルエンサーマーケティング事業)

インフルエンサーマーケティング事業では、クリエイターの様々な活動のサポート、クリエイターを活用したプロモーション、および番組制作・チャンネル運営等を行っております。

当連結会計年度においては、人的資源の最適化などによる構造改革が順調に進捗しております。

この結果、インフルエンサーマーケティング事業の外部顧客への売上高は22,074百万円（新設セグメントのため前年比較はありません。以下同様）、セグメント損失は122百万円、EBITDAは718百万円となりました。

(その他事業)

その他事業では、主に国内外のグループにおける経営管理機能等の提供をしております。

当連結会計年度においては、グループに対する管理体制の強化等を実施いたしました。

この結果、その他事業の外部顧客への売上高は105百万円（前年同期比19.9%増）、セグメント損失は78百万円（前年同期はセグメント利益818百万円）、EBITDAは△6百万円（前年同期は1,429百万円）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当連結会計年度末における総資産は41,617百万円となり、前連結会計年度末と比べ3,269百万円減少しました。これは主に、現金及び預金が426百万円、売掛金が461百万円増加した一方で、のれんが3,451百万円、顧客関連資産が312百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当連結会計年度末における負債は24,665百万円となり、前連結会計年度末と比べ92百万円増加しました。これは主に、長期借入金が3,434百万円増加した一方で、未払法人税等が3,144百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産は16,951百万円となり、前連結会計年度末と比べ3,361百万円減少しました。これは主に、利益剰余金が3,189百万円減少したことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末より426百万円増加し、19,821百万円となりました。当連結会計年度末における各キャッシュ・フローとそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動においては、2,699百万円の資金流出（前連結会計年度は2,461百万円の資金流入）となりました。これは主に、法人税等の支払3,236百万円や、税金等調整前当期純損失の計上2,226百万円による流出があったものの、のれん償却額（特別損失）の計上3,212百万円による流入があったためであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動においては、244百万円の資金流入（前連結会計年度は10,248百万円の資金流入）となりました。これは主に、無形固定資産の取得による支出452百万円による流出があったものの、投資有価証券の売却による収入1,010百万円による流入があったためであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動においては、3,055百万円の資金流入（前連結会計年度は848百万円の資金流出）となりました。これは主に、長期借入れによる収入5,114百万円による資金流入があったものの、長期借入金の返済による支出1,147百万円や自己株式の取得による支出400百万円による資金流出があったためであります。

(4) 今後の見通し

当社グループは、「人に人らしい仕事を。」をミッションとして掲げ、更なる企業価値の向上に邁進してまいります。

具体的には、まず引き続き成長が見込まれる国内インターネット広告市場において、従来の主力プロダクトである「Red」、「Scarlet」に加えて、コンテクスチュアルターゲティングによるYouTube広告枠買付を提供する「GP」、Retail Tech領域でのインスタサイネージ事業、High Impact広告事業などを積極的に進めることで、成長を加速させてまいります。

また、海外インターネット広告市場においては、米国の景気後退の影響を受けて減速したPlaywire, LLCの回復を進めるほか、東アジア・東南アジアの各拠点についても、コスト改善や「GP」のグローバル展開などを通じて、収益力の強化に努めてまいります。

さらに、UUUM社を中心に成長著しいインフルエンサーマーケティング市場で事業をさらに展開し、グループ全体としてのシナジー発現を含めて同市場での収益力強化を実現いたします。

一方で、世界的な景気後退懸念と不安定な為替相場の影響は、2024年10月以降も継続が見込まれております。これらが当社グループの顧客の事業及び業績に影響を及ぼす可能性があり、それに伴う広告出稿の減少により当社グループの事業及び業績に影響を及ぼす可能性があります。

以上の結果、2025年9月期の業績につきましては、売上高56,000百万円（当連結会計年度比8.3%増）、営業利益200~700百万円（当連結会計年度は営業利益1百万円）、EBITDA2,100~2,600百万円（当連結会計年度比18.3~46.4%増）をそれぞれ見込んでおります。

※なお、詳細につきましては本日開示を予定しております「株式会社フリークアウト・ホールディングス2024年9月期通期決算説明資料」をご参照ください。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、当面は日本基準に基づき連結財務諸表を作成する方針であります。なお、国内外の諸情勢を考慮の上、必要に応じて国際財務報告基準（IFRS）の適用を検討する方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当連結会計年度 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,394,902	19,821,084
受取手形	34,472	4,062
売掛金	8,653,941	9,115,437
営業投資有価証券	1,057,170	1,019,551
その他	2,370,931	1,428,252
貸倒引当金	△335,134	△136,044
流動資産合計	31,176,282	31,252,343
固定資産		
有形固定資産		
建物	791,461	835,051
減価償却累計額	△517,609	△570,552
建物（純額）	273,851	264,499
工具、器具及び備品	981,453	957,478
減価償却累計額	△824,130	△767,462
工具、器具及び備品（純額）	157,322	190,016
その他	43,382	48,222
減価償却累計額	△11,154	△11,963
その他（純額）	32,228	36,258
有形固定資産合計	463,402	490,774
無形固定資産		
のれん	4,796,687	1,345,159
顧客関連資産	3,441,000	3,128,181
その他	649,127	626,242
無形固定資産合計	8,886,815	5,099,583
投資その他の資産		
投資有価証券	3,325,961	3,607,180
その他	1,287,288	1,325,119
貸倒引当金	△253,363	△157,714
投資その他の資産合計	4,359,886	4,774,585
固定資産合計	13,710,104	10,364,943
資産合計	44,886,387	41,617,287

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当連結会計年度 (2024年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	6,612,973	6,488,044
短期借入金	6,599,943	6,544,237
1年内返済予定の長期借入金	1,122,417	1,696,757
1年内償還予定の社債	360,000	360,000
未払法人税等	3,207,026	63,019
契約負債	205,554	128,456
賞与引当金	200,958	187,191
役員賞与引当金	22,753	11,921
関係会社整理損失引当金	77,662	66,174
その他	1,763,696	1,451,952
流動負債合計	20,172,987	16,997,755
固定負債		
社債	1,000,000	640,000
長期借入金	2,427,587	5,861,627
繰延税金負債	732,557	877,523
その他	240,171	288,483
固定負債合計	4,400,317	7,667,635
負債合計	24,573,304	24,665,390
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,552,049	3,552,049
資本剰余金	3,753,239	3,756,280
利益剰余金	9,011,112	5,821,647
自己株式	△323,633	△723,594
株主資本合計	15,992,767	12,406,383
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	102,453	79,805
為替換算調整勘定	265,435	176,516
その他の包括利益累計額合計	367,888	256,322
新株予約権	419,441	528,993
非支配株主持分	3,532,985	3,760,198
純資産合計	20,313,082	16,951,896
負債純資産合計	44,886,387	41,617,287

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)	当連結会計年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)
売上高	30,604,370	51,711,413
売上原価	21,300,752	37,061,188
売上総利益	9,303,618	14,650,225
販売費及び一般管理費	7,692,821	14,648,567
営業利益	1,610,796	1,658
営業外収益		
受取利息	7,361	37,321
持分法による投資利益	702,738	538,173
為替差益	140,448	-
貸倒引当金戻入額	-	97,691
その他	21,500	119,545
営業外収益合計	872,048	792,731
営業外費用		
支払利息	53,710	108,402
資金調達費用	75,658	54,622
為替差損	-	186,301
その他	15,306	78,162
営業外費用合計	144,675	427,489
経常利益	2,338,170	366,899
特別利益		
投資有価証券売却益	11,686,976	169,443
関係会社株式売却益	-	510,970
その他	-	47,305
特別利益合計	11,686,976	727,719
特別損失		
投資有価証券評価損	552,024	33,875
減損損失	2,100,390	48,560
のれん償却額	-	3,212,733
その他	113,434	26,397
特別損失合計	2,765,849	3,321,567
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	11,259,296	△2,226,948
法人税、住民税及び事業税	3,673,242	460,469
法人税等調整額	△119,999	152,398
法人税等合計	3,553,242	612,867
当期純利益又は当期純損失(△)	7,706,054	△2,839,815
非支配株主に帰属する当期純利益	△164,165	350,457
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	7,870,220	△3,190,273

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)	当連結会計年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)
当期純利益又は当期純損失(△)	7,706,054	△2,839,815
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9,442	△21,059
持分法適用会社に対する持分相当額	14,639	△8,969
為替換算調整勘定	△55,236	△108,443
その他の包括利益合計	△31,154	△138,471
包括利益	7,674,900	△2,978,287
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	7,842,025	△3,301,840
非支配株主に係る包括利益	△167,125	323,552

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	3,552,049	3,753,239	1,140,892	△323,633	8,122,547
当期変動額					
親会社株主に帰属する当期純利益			7,870,220		7,870,220
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					-
当期変動額合計	-	-	7,870,220	-	7,870,220
当期末残高	3,552,049	3,753,239	9,011,112	△323,633	15,992,767

	その他の包括利益累計額			新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	その他の包括 利益累計額合計			
当期首残高	87,965	308,117	396,083	151,895	1,372,390	10,042,915
当期変動額						
親会社株主に帰属する当期純利益						7,870,220
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	14,487	△42,681	△28,194	267,546	2,160,595	2,399,947
当期変動額合計	14,487	△42,681	△28,194	267,546	2,160,595	10,270,167
当期末残高	102,453	265,435	367,888	419,441	3,532,985	20,313,082

当連結会計年度（自 2023年10月1日 至 2024年9月30日）

（単位：千円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	3,552,049	3,753,239	9,011,112	△323,633	15,992,767
当期変動額					
親会社株主に帰属する当期純損失（△）			△3,190,273		△3,190,273
自己株式の取得				△399,960	△399,960
その他		3,040	809	0	3,849
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計		3,040	△3,189,464	△399,960	△3,586,384
当期末残高	3,552,049	3,756,280	5,821,647	△723,594	12,406,383

	その他の包括利益累計額			新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	その他の包括 利益累計額合計			
当期首残高	102,453	265,435	367,888	419,441	3,532,985	20,313,082
当期変動額						
親会社株主に帰属する当期純損失（△）						△3,190,273
自己株式の取得						△399,960
その他						3,849
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△22,647	△88,919	△111,566	109,552	227,213	225,198
当期変動額合計	△22,647	△88,919	△111,566	109,552	227,213	△3,361,185
当期末残高	79,805	176,516	256,322	528,993	3,760,198	16,951,896

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)	当連結会計年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	11,259,296	△2,226,948
減価償却費	468,322	887,779
減損損失	2,100,390	48,560
のれん償却額	107,447	254,011
のれん償却額(特別損失)	-	3,212,733
株式報酬費用	267,546	94,153
賞与引当金の増減額(△は減少)	△77,402	△10,230
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△35,973	△10,304
貸倒引当金の増減額(△は減少)	2,920	△50,339
関係会社整理損失引当金の増減額(△は減少)	△3,889	△15,711
受取利息	△7,361	△37,321
支払利息	53,710	108,402
為替差損益(△は益)	△146,105	102,089
持分法による投資損益(△は益)	△702,738	△538,173
持分変動損益(△は益)	3,259	2,096
資金調達費用	75,658	54,622
関係会社株式売却損益(△は益)	62,381	△510,970
投資有価証券売却損益(△は益)	△11,686,976	△169,443
投資有価証券評価損益(△は益)	552,024	33,875
売上債権の増減額(△は増加)	656,770	△619,605
仕入債務の増減額(△は減少)	△559,499	32,312
その他の資産の増減額(△は増加)	△253,489	419,366
その他の負債の増減額(△は減少)	311,294	△554,653
その他	△12,614	△73,602
小計	2,434,972	432,699
利息及び配当金の受取額	799,513	179,343
利息の支払額	△53,530	△75,039
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△719,511	△3,236,895
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,461,443	△2,699,891

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)	当連結会計年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△58,812	△124,820
無形固定資産の取得による支出	△390,624	△452,729
投資有価証券の取得による支出	△1,635,028	△296,705
投資有価証券の売却による収入	15,377,257	1,010,216
匿名組合出資金の払戻による収入	4,253	-
貸付けによる支出	△60,682	△95,500
貸付金の回収による収入	1,000	113,429
敷金及び保証金の差入による支出	△56,594	△11,517
敷金及び保証金の回収による収入	50,970	8,345
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△2,983,311	-
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	-	38,626
投資事業組合からの分配による収入	-	61,550
その他	24	△6,107
投資活動によるキャッシュ・フロー	10,248,451	244,787
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△99,050	△23,547
長期借入れによる収入	1,943,380	5,114,583
長期借入金の返済による支出	△2,049,338	△1,147,318
社債の償還による支出	△360,226	△360,194
自己株式の取得による支出	-	△400,360
リース債務の返済による支出	△26,878	△37,902
非支配株主への配当金の支払額	△255,965	△95,893
その他	3	6,059
財務活動によるキャッシュ・フロー	△848,075	3,055,426
現金及び現金同等物に係る換算差額	145,441	△174,139
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	12,007,262	426,182
現金及び現金同等物の期首残高	7,287,745	19,394,902
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	99,894	-
現金及び現金同等物の期末残高	19,394,902	19,821,084

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(連結貸借対照表)

前連結会計年度において、「流動資産」の「その他」に含めて表示しておりました「営業投資有価証券」は、金額的重要性が増したため独立掲記しております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」の「その他」に含めて表示しておりました「営業投資有価証券」1,057,170千円を独立掲記して組み替えております。

(連結損益計算書)

前連結会計年度において、独立掲記しておりました「特別損失」の「関係会社整理損失引当金繰入額」及び「貸倒引当金繰入額」は、金額的重要性が乏しいため、当連結会計年度においては「特別損失」の「その他」に含めて表示しております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結損益計算書において独立掲記しておりました「特別損失」の「関係会社整理損失引当金繰入額」10,024千円及び「貸倒引当金繰入額」35,093千円は「その他」として組み替えております。

(連結損益計算書に関する注記)

※1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)	当連結会計年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)
給与及び手当	2,894,887千円	6,089,302千円
賞与引当金繰入額	190,043	190,143
役員賞与引当金繰入額	21,243	12,547
のれん償却額	107,447	254,011
株式報酬費用	267,546	94,153
システム利用料	893,229	1,385,896
株式売却に伴う事業税(付加価値割)	147,255	—
子会社株式取得付随費用	148,802	—

※2 減損損失

前連結会計年度(自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)

当連結会計年度において、当社グループは以下の資産グループについて減損損失を計上しました。

(単位：千円)

用途	種類	場所	金額
その他	のれん	北米	1,002,674
その他	顧客関連資産	北米	1,075,079
共用資産	工具、器具及び備品 有形固定資産(その他)	日本	4,637
事業用資産	無形固定資産(その他)	日本	17,998

当社グループは、継続的に収支の把握を行っている管理会計上の区分を基礎としたグルーピングをしております。

その他は、株式を取得した際に超過収益力を前提にしたのれん及び顧客関連資産を計上していましたが、一部既存顧客を喪失し、当初想定していた収益等が見込めなくなったため、収益力及び今後の事業計画を再検討した結果、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として計上しております。

共用資産は、帳簿価額を管理会計上の区分を基礎として合理的な基準で配分し、減損の兆候が認められた資産グループについて、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として計上しております。

事業用資産は、営業活動による損益が2期連続でマイナスとなったため、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として計上しております。

なお、回収可能価額は使用価値により測定しており、将来キャッシュ・フローを割引率5.0%で割り引いて算定しております。将来キャッシュ・フローが見込めない資産については、回収可能価額を零として評価しており、割引率を使用しておりません。

当連結会計年度(自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)

当連結会計年度において、当社グループは以下の資産グループについて減損損失を計上しました。

(単位：千円)

用途	種類	場所	金額
共用資産	工具、器具及び備品 有形固定資産(その他)	日本	3,516
事業用資産	工具、器具及び備品 有形固定資産(その他)	アジア	2,389
事業用資産	無形固定資産(その他)	日本	42,654

当社グループは、継続的に収支の把握を行っている管理会計上の区分を基礎としたグルーピングをしております。

共用資産は、帳簿価額を管理会計上の区分を基礎として合理的な基準で配分し、減損の兆候が認められた資産グループについて、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として計上しております。

事業用資産は、営業活動による損益が2期連続でマイナスとなったため、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として計上しております。

なお、将来キャッシュ・フローが見込めない資産については、回収可能価額を零として評価しており、割引率を使用しておりません。

※3 のれん償却額

当連結会計年度に、当社が保有するUUUM株式会社の株式の市場価格が取得価額に比べて著しく下落したことに伴い、個別決算において当該株式の減損処理を計上したため、連結決算において「連結財務諸表における資本連結手続に関する実務指針」(日本公認会計士協会、最終改正2022年10月28日、会計制度委員会報告第7号)第32項の規定に基づき、のれん償却額を計上したものであります。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

(2) 各報告セグメントに属する製品及びサービス

「広告事業」では、モバイルマーケティングプラットフォーム「Red」、プレミアム媒体を対象とした広告プラットフォーム「Scarlet」、高度なブランドセーフティ機能を搭載した動画コンテンツチュアルターゲティングを可能とする次世代型YouTube広告枠買取システム「GP」、ネイティブアドプラットフォームなどの提供を行っております。

「投資事業」では、グローバル展開のポテンシャルを有する製品/ソリューションを開発するITベンチャー企業を主たる投資対象として、投資リターンによる企業価値の向上を図るための事業を行っております。

「インフルエンサーマーケティング事業」では、クリエイターの様々な活動のサポート、クリエイターを活用したプロモーション、および番組制作・チャンネル運営等を行っております。

「その他事業」では、国内外のグループにおける経営管理機能等の提供を行っております。

(3) 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度において、UUUM株式会社を連結子会社としたため、報告セグメント「インフルエンサーマーケティング事業」を新設しております。また、当連結会計年度より、従来「広告・マーケティング事業」としていた報告セグメントの名称を「広告事業」に変更しております。この変更はセグメント名称の変更であり、セグメント情報に与える影響はありません。なお、前連結会計年度の報告セグメントについても、変更後の名称で表示しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法です。

報告セグメントの利益又は損失(△)は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部売上高及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度（自 2022年10月1日 至 2023年9月30日）

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	連結財務 諸表計上額 (注2)
	広告事業	投資事業	インフルエンサーマーケティング事業	その他事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	29,041,648	1,474,603	-	88,118	30,604,370	-	30,604,370
セグメント間の内部売上高又は振替高	28,074	-	-	2,596,908	2,624,983	△2,624,983	-
計	29,069,722	1,474,603	-	2,685,027	33,229,353	△2,624,983	30,604,370
セグメント利益	1,497,195	1,367,304	-	818,949	3,683,448	△2,072,651	1,610,796
セグメント資産	14,200,126	287,898	18,457,558	13,457,995	46,403,578	△1,517,191	44,886,387
その他の項目							
減価償却費	460,120	-	-	8,202	468,322	-	468,322
減損損失	2,095,752	-	-	4,637	2,100,390	-	2,100,390
のれん償却額	107,447	-	-	-	107,447	-	107,447
持分法適用会社への投資額	1,190,890	171,872	85,788	569,993	2,018,544	-	2,018,544
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	479,166	-	6,731,872	9,762	7,220,800	-	7,220,800

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

(1) セグメント利益の調整額はセグメント間取引の消去であります。

(2) セグメント資産の調整額はセグメント間取引の消去であります。

2. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

3. 「企業結合等関係」に記載の通り、当連結会計年度において企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前連結会計年度のセグメント情報については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の当初配分額の重要な見直しが反映されています。

当連結会計年度（自 2023年10月1日 至 2024年9月30日）

（単位：千円）

	報告セグメント					調整額 (注1)	連結財務 諸表計上額 (注2)
	広告事業	投資事業	インフルエンサーマーケティング事業	その他事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	29,480,036	51,413	22,074,281	105,683	51,711,413	-	51,711,413
セグメント間の内部売上高又は振替高	49,652	-	85,928	1,257,383	1,392,964	△1,392,964	-
計	29,529,688	51,413	22,160,209	1,363,067	53,104,378	△1,392,964	51,711,413
セグメント利益又は損失（△）	992,153	△72,796	△122,468	△78,010	718,878	△717,220	1,658
セグメント資産	12,916,739	1,156,569	14,544,792	14,412,024	43,030,126	△1,412,839	41,617,287
その他の項目							
減価償却費	457,556	-	423,170	7,052	887,779	-	887,779
減損損失	45,044	-	-	3,516	48,560	-	48,560
のれん償却額	-	-	3,466,745	-	3,466,745	-	3,466,745
持分法適用会社への投資額	1,455,999	187,385	59,738	589,220	2,292,344	-	2,292,344
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	194,415	-	66,703	2,683	263,802	-	263,802

（注）1. 調整額は、以下のとおりであります。

（1）セグメント利益又は損失（△）の調整額はセグメント間取引の消去であります。

（2）セグメント資産の調整額はセグメント間取引の消去であります。

2. セグメント利益又は損失（△）は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

3. その他の項目ののれんの償却額のインフルエンサーマーケティング事業には、特別損失で計上しているのれん償却額3,212,733千円が含まれております。

【関連情報】

前連結会計年度（自 2022年10月1日 至 2023年9月30日）

1 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：千円)

日本	北米	アジア	合計
8,833,636	16,474,549	5,296,185	30,604,370

(2) 有形固定資産

(単位：千円)

日本	北米	アジア	合計
402,018	15,770	45,613	463,402

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%を占める相手がないため、記載はありません。

当連結会計年度（自 2023年10月1日 至 2024年9月30日）

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：千円)

日本	北米	アジア	合計
21,515,826	24,700,459	5,495,128	51,711,413

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎としております。

(2) 有形固定資産

(単位：千円)

日本	北米	アジア	合計
435,318	26,044	29,411	490,774

3 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
Google LLC	7,514,250	インフルエンサー マーケティング事業

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自 2022年10月1日 至 2023年9月30日）

セグメント情報に同様の情報を開示しているため記載を省略しております。

当連結会計年度（自 2023年10月1日 至 2024年9月30日）

セグメント情報に同様の情報を開示しているため記載を省略しております。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度（自 2022年10月1日 至 2023年9月30日）

(単位：千円)

	報告セグメント					全社・消去	合計
	広告事業	投資事業	インフルエンサー マーケティング事 業	その他事業	計		
当期末残高	-	-	4,796,687	-	4,796,687	-	4,796,687

(注) のれん償却額に関しては、セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

なお「広告事業」において、のれんの減損を行ったことにより、のれんの未償却残高に重要な変動が生じております。当該事象によるのれんの減少額は当連結会計年度において1,002,674千円であります。

また「企業結合等関係」に記載の通り、当連結会計年度において企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前連結会計年度のセグメント情報については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の当初配分額の重要な見直しが反映されています。

当連結会計年度（自 2023年10月1日 至 2024年9月30日）

(単位：千円)

	報告セグメント					全社・消去	合計
	広告事業	投資事業	インフルエンサー マーケティング事 業	その他事業	計		
当期末残高	-	-	1,345,159	-	1,345,159	-	1,345,159

(注) のれん償却額に関しては、セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

なお「インフルエンサーマーケティング事業」において、のれんの減損を行ったことにより、のれんの未償却残高に重要な変動が生じております。当該事象によるのれんの減少額は当連結会計年度において3,212,733千円であります。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度（自 2022年10月1日 至 2023年9月30日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2023年10月1日 至 2024年9月30日）

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

企業結合に係る暫定的な会計処理の確定

2023年9月15日に行われたUUUM株式会社との企業結合について前連結会計年度において暫定的な会計処理を行っていましたが、当連結会計年度に確定しております。

この暫定的な会計処理の確定に伴い、当連結会計年度の連結財務諸表に含まれる比較情報において取得原価の当初配分額に重要な見直しが反映されております。

この結果、暫定的に算定されたのれんの金額5,862,588千円は、会計処理の確定による顧客関連資産の増加等に伴い1,079,306千円減少しております。

これに伴い、前連結会計年度末の資産合計は1,524,292千円、負債合計は543,460千円、純資産合計は980,832千円増加しております。

なお、のれんの償却期間は13年、顧客関連資産の償却期間は11年としております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)	当連結会計年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)
1株当たり純資産額	915.14円	728.73円
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失 (△)	440.22円	△179.75円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	434.25円	-円

(注) 1. 当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)	当連結会計年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△) (千円)	7,870,220	△3,190,273
普通株主に帰属しない金額 (千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△) (千円)	7,870,220	△3,190,273
普通株式の期中平均株式数 (株)	17,877,740	17,748,137
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額 (千円)	△1,232	-
普通株式増加数 (株)	243,123	-
(うち新株予約権 (株))	243,123	-
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	-	-

(重要な後発事象)

(UUUM株式会社の株式等に対する公開買付けの開始)

当社は、2024年11月14日開催の取締役会において、当社の連結子会社であるUUUM株式会社（以下「対象者」といいます。）の普通株式（以下「対象者株式」といいます。）の全て（但し、当社が所有する対象者株式及び対象者が所有する自己株式を除きます。）及び新株予約権の全てを取得し、対象者を当社の完全子会社とすることを目的とした取引の一環として、金融商品取引法による公開買付け（以下「本公開買付け」といいます。）を実施することを決議いたしました。

<本公開買付けの概要>

1. 本公開買付けの目的

当社は、対象者の連結子会社化を目的として、2023年8月14日から同年9月8日までを公開買付け期間として対象者株式に対する公開買付けを実施し、同年9月15日付で対象者を連結子会社としておりましたが、その後の状況に鑑み、対象者グループの今後より一層の事業拡大を目指し、当社グループ全体の企業価値向上を図っていくためには、対象者を当社の完全子会社とすることで資本関係を更に強化し、対象者の少数株主と当社との間での利益相反のおそれを解消した上で、これまで以上の一体化した経営を行うことにより、協業体制の構築や経営資源・ノウハウの最大化、意思決定の迅速化・簡素化、事業成長への経営資源の集中を図り、対象者グループの収益力の向上と成長に伴う利益を享受する必要があるとの考えに至りましたので、対象者を当社の完全子会社とすることを目的に、本公開買付けを実施します。

2. 対象者の概要

①名称	UUUM株式会社
②所在地	東京都港区赤坂九丁目7番1号
③代表者の役職・氏名	代表取締役 社長執行役員 梅景 匡之
④事業内容	動画投稿者、芸能タレント、音楽家などの育成及びマネージメント
⑤資本金	836百万円（2024年5月31日時点）
⑥設立年月日	2013年6月27日

3. 買付け等の期間

2024年11月15日（金曜日）から2024年12月26日（木曜日）まで（30営業日）

4. 買付け等の価格

(1) 普通株式1株につき、532円

(2) 新株予約権

- (i) 第1回新株予約権1個につき、金 43,800円
- (ii) 第2回新株予約権1個につき、金 43,800円
- (iii) 第3回新株予約権1個につき、金 41,760円
- (iv) 第5回新株予約権1個につき、金 41,760円
- (v) 第7回新株予約権1個につき、金 19,800円
- (vi) 第10回新株予約権1個につき、金 1円
- (vii) 第11回新株予約権1個につき、金 1円
- (viii) 第13回新株予約権1個につき、金 53,100円
- (ix) 第14回新株予約権1個につき、金 1円
- (x) 第15回新株予約権1個につき、金 1円

5. 買付け予定の株券等の数

株券等の種類	買付予定数（株）	買付予定数の下限（株）	買付予定数の上限（株）
普通株式	10,007,053	3,079,318	—
合計	10,007,053	3,079,318	—

6. 買付代金 5,323百万円

(注)買付代金は、本公開買付けにおける買付予定数（10,007,053株）に、本公開買付け価格（532円）を乗じた金額を記載しております。

7. 支払資金の調達方法

自己資金

8. 決済の開始日

2025年1月8日（水曜日）